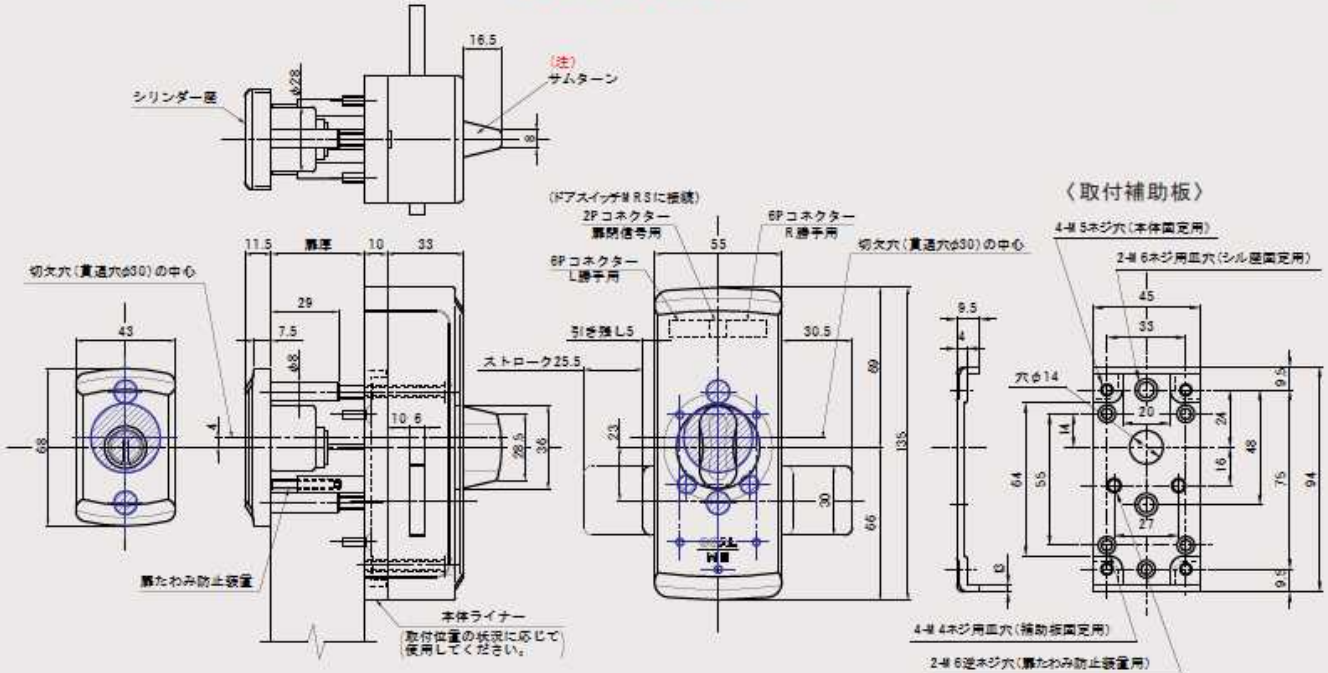


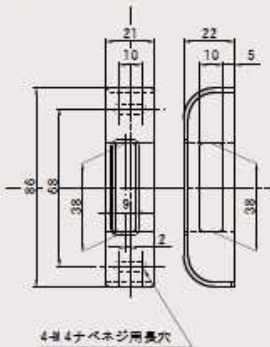
■外形図・切欠図(単位mm)

●電気錠 V-ME 5 (V18 シリンダー)

(注:本図の標準型以外にオプションでTME型やTMK型防犯サムターンも使用できます。) 詳細はP.61をご参照ください。

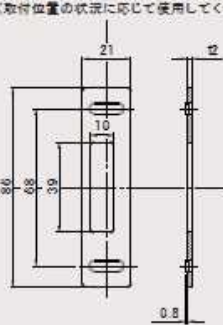


●V-MH用受座

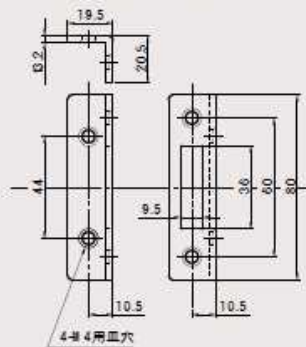


●V-MH受座用ライナー(2枚)

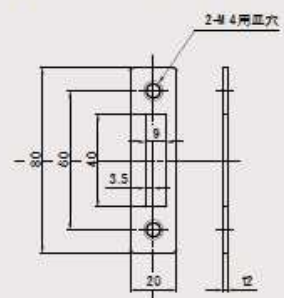
(取付位置の状況に応じて使用してください。)



●V-MH用L型受座(t3.2)

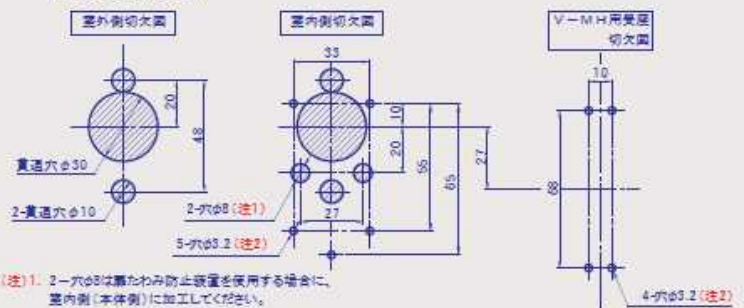


●V-MH用平型受座(t2.0)



※受座やライナーおよび取付例は電気錠V-ME-5も同じです。

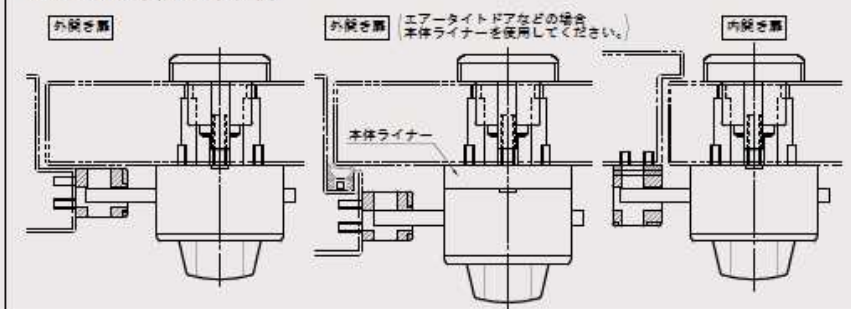
〈扉切欠寸法図〉



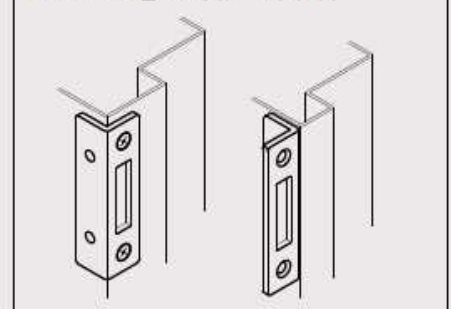
(注)1. 2-穴φ8は防たわみ防止装置を使用する場合に、室内側(本体側)に加工してください。

2. 穴φ3.2は4ネジの下穴です。(木扉の場合は加工不要です) ※4タップ加工をせずに直接付属のM4ネジ(セルフタッピングネジ)を取付けてください。

●V-MH用受座の取付例



●V-MH用L型受座の取付例



取付説明書

お客様用



モーター式
面付本締り電気錠

品番

ME



注意

- スペリ止め付き手袋をご使用ください。金具で手を切ることもあります。
- 錠本体、シリンダー、ウケ等の突起物を足場にしないでください。滑って、けがをすることがあります。また、製品性能が低下することがあります。
- 故障の原因となりますので、叩いたりしないでください。また、絶対に分解しないでください。
- ネジは、この取付説明書に従って正確に締め付けてください。締め付け不良の場合、故障の原因になります。
- ネジの締め付けにインパクトドライバーは絶対に使用しないでください。製品が正常に機能しないことがあります。
- すべての部品を取付けた後、正常に作動しているか確認してください。
- 表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジン等は絶対に使用しないでください。
- 故障の場合には、施工店または最寄りのゴール支店・営業所やゴールサービス店の番板のある店舗へご連絡ください。

錠本体関係のセット部品内容

参考：ネジの図は実寸になっています。

六角レンチ(1ヶ)

キー(3本)

シリンダー(1ヶ)

*錠本体(1ヶ)

*本体ライナー(1ヶ)

*取付補助板(1ヶ)

扉たわみ防止装置(2ヶ)

サムターン(1ヶ)

※印は組立てた状態で梱包しています。

取付型紙

取付説明書(本書)

サムターン
取付ネジ M3x20 (1本)

本体
取付ネジ M5x25 (4本)

本体
取付ネジ *M5x35 (4本)

取付補助板
取付ネジ M4x12 (4本)

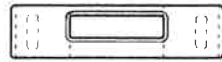
取付補助板
取付ネジ M4x25 (4本)

シリンダー座
引きネジ M6x25 (2本)

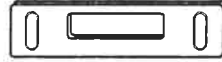
シリンダー座
引きネジ M6x35 (2本)

ウケ関係のセット部品

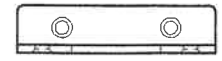
ウケ(1ヶ)



ウケライナー(2ヶ)



L型ウケ(1ヶ)



M4x20 (4本)

M4x25 (4本)

M4x12 (2本)

M4x20 (2本)

扉開閉スイッチ関係のセット部品

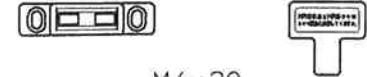
MRS本体ライナー(5ヶ)

MRS本体(1ヶ)



MRSウケ(1ヶ)

MRS本体ウケゲージ(1ヶ)



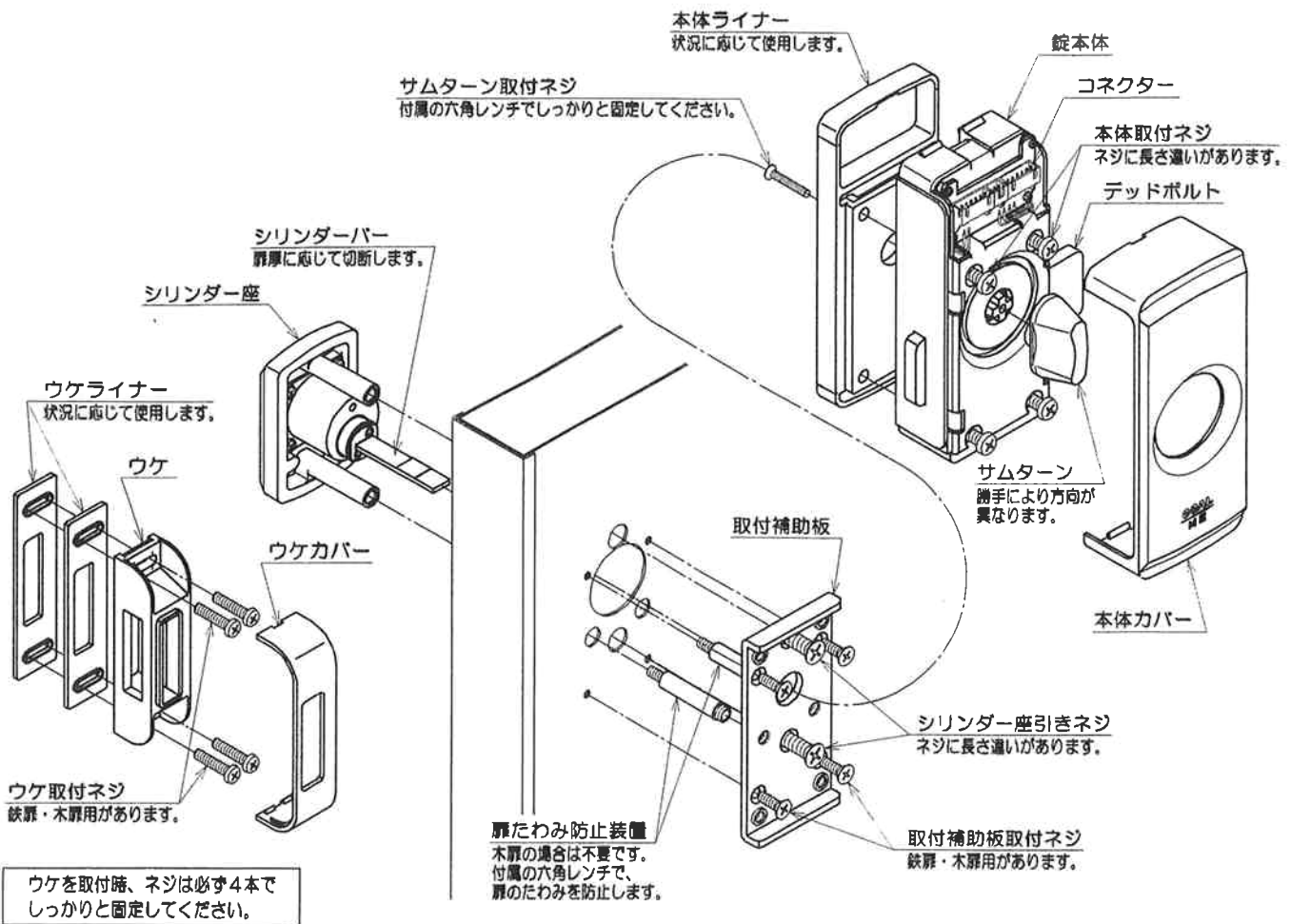
M4x20 (2本)

M4x25 (2本)

M4x16 (2本)

M4x16 (2本)

全体図・切欠き図



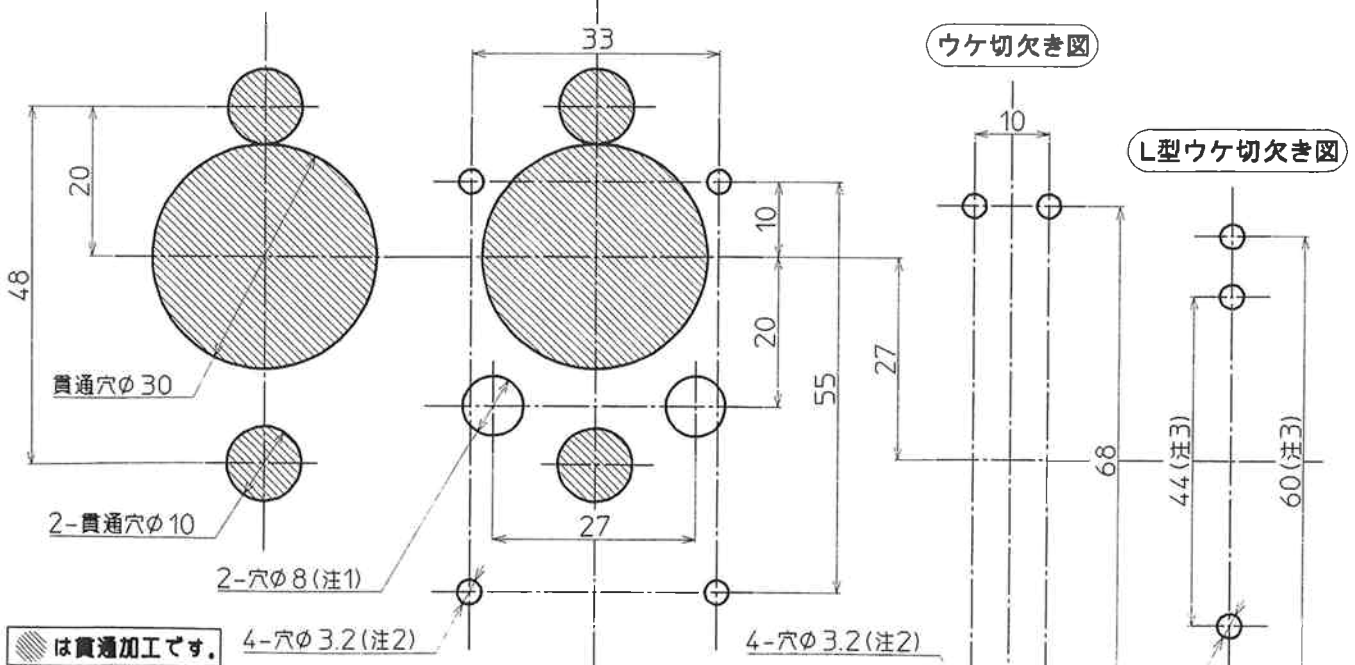
ウケを取付時、ネジは必ず4本でしっかりと固定してください。

室外側切欠き図

室内側切欠き図

ウケ切欠き図

L型ウケ切欠き図



●は貫通加工です。

- 注1. 扉たわみ防止装置を使用する場合に、室内側のみ加工してください。
- 注2. 穴φ3.2はM4ネジの下穴です。(木扉の場合は加工不要です)
M4タップ加工をせずに直接付属のM4ネジ(セルフタッピングネジ)を取付けてください。
- 注3. L型ウケは、取付け方向によりネジピッチが異なりますので注意してください。

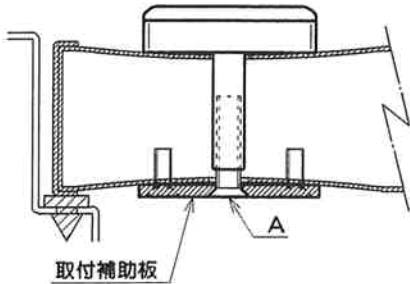
取付、切欠きに必要な工具

- ・電気ドリル（φ10のドリルがつかめるもの）
- ・φ30ホールカッター
- ・φ8ドリル
- ・φ10ドリル
- ・φ3.2ドリル（M4ネジ下穴加工に使用）
- ・プラスドライバー（No.2）
- ・ペンチ（175mm程度）及びプライヤー（200mm程度）
（シリンダーバー切断に使用）
- ・センターポンチ
- ・片手ハンマー（約350g程度）
- ・コンベックス
- ・ニッパ（100mm程度）

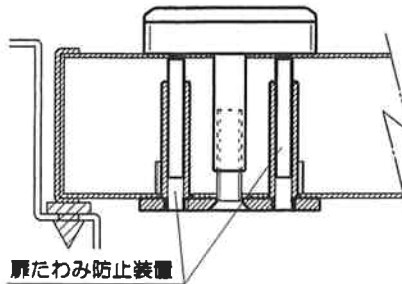
- *その他、有った方がよいもの*
- ・巾10mm程度の並目の平やすり
- ・φ6mm程度の並目の丸やすり
- ・巾10mm程度のノミ
- ・ノギス
- ・巾20mm程度のたがね
- ・1～1.5m角の床保護シート
- ・清掃用具（ほうき、ちりとり）

扉たわみ防止装置について

1. Aネジを締めると扉がたわみます。



2. 取付補助板に扉たわみ防止装置を装着して六角レンチにて調整してください。扉のたわみを防ぐことができます。



取付補助板固定用ネジ

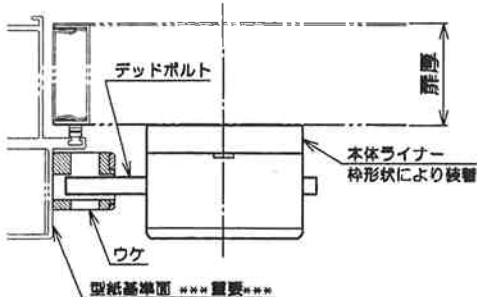
このネジは左回転で締まる逆ネジになっています。



六角レンチで内部に装着しているネジを時計方向に回すことによりネジが出て調整することができます。

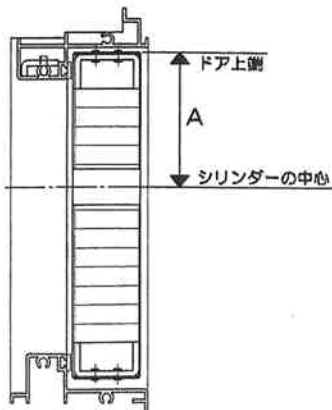
施工手順

① 扉を開めた状態で、錠本体とウケの取付け位置を現物合わせで決定してください。

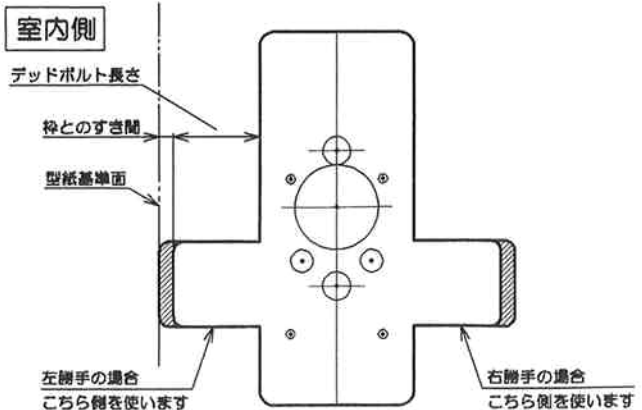


- ・デッドボルトが枠に当たり、ウケ穴に擦らない位置にしてください。
- ・扉のガタツキ（開閉方向）を必ず考慮して位置を決めてください。
- ・本体ライナーの要否を決定してください。
- ・扉厚を測定してください。

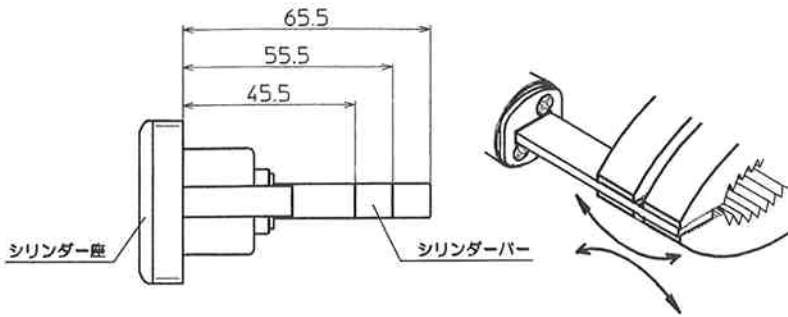
② シリンダーの高さ方向中心位置（下図A）は、現場で決めてください。シリンダー、錠本体を好みの位置で取付することができます。



③ 型紙はシール式になっています。型紙を型紙基準面に合わせて貼り付けてください。この時、型紙が極力垂直になるように固定してください。

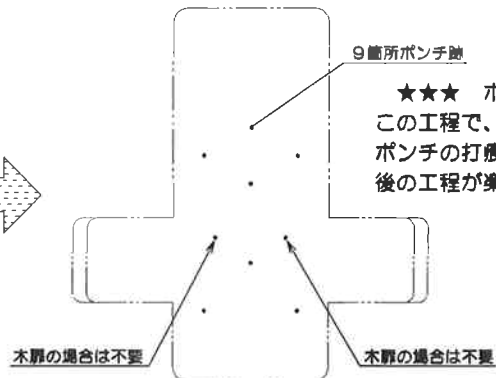
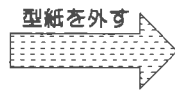
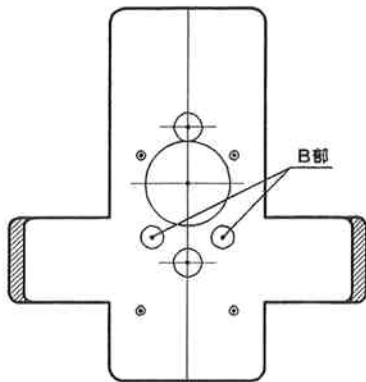


- ④ 扉厚に合わせてシリンダーバーの切断加工します。
シリンダーバー長さ及びシリンダー座引きネジ長さは、下記表を参照してください。
切断は2枚のプライヤーでシリンダーバーを挟んで、折り曲げを繰り返して切断します。



扉厚	本体ライナー	シリンダーバー長さ	シリンダー座引きネジ
30~40 mm	なし	45.5	M6×25 ⊕皿D10
	あり	55.5	
40~50 mm	なし	55.5	M6×35 ⊕皿D10
	あり	65.5	

- ⑤ センターポンチで各穴の位置出しをします。
位置出しが終われば、型紙を扉から剥がしてください。
木扉の場合、B部は加工不要です。(扉たわみ防止装置を付けない為)

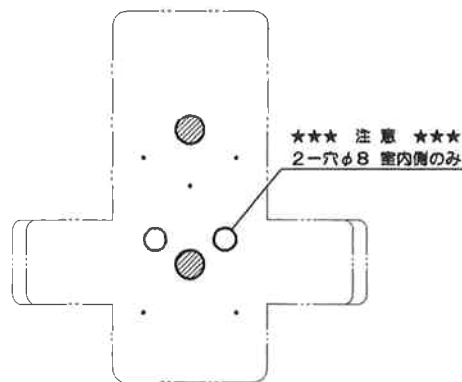


9箇所ポンチ跡
★★★ ポイント ★★★
この工程で、φ3、2のドリルでポンチの打痕を大きくしておくとの後の工程が楽になります。

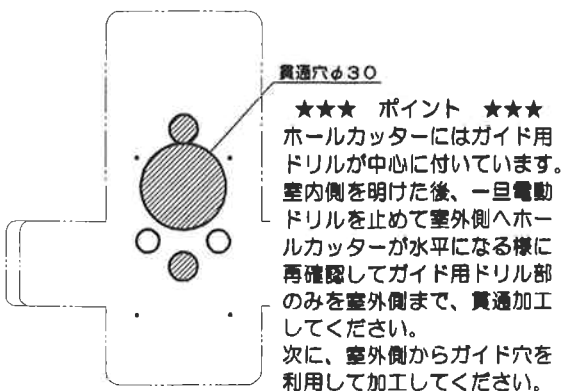
- ⑥ 2-貫通穴φ10を加工します。
(シリンダー柱用)



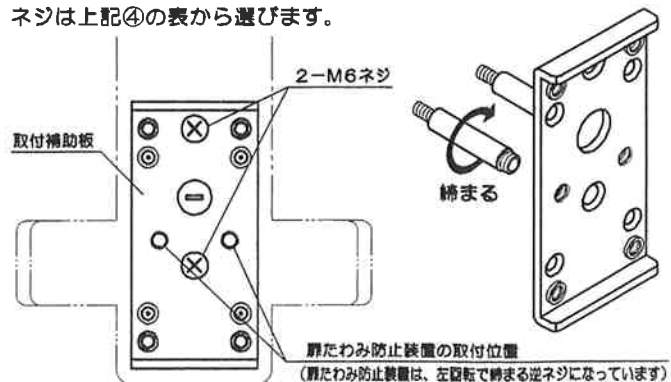
- ⑦ 2-穴φ8を室内側のみ加工します。
(扉たわみ防止装置用)



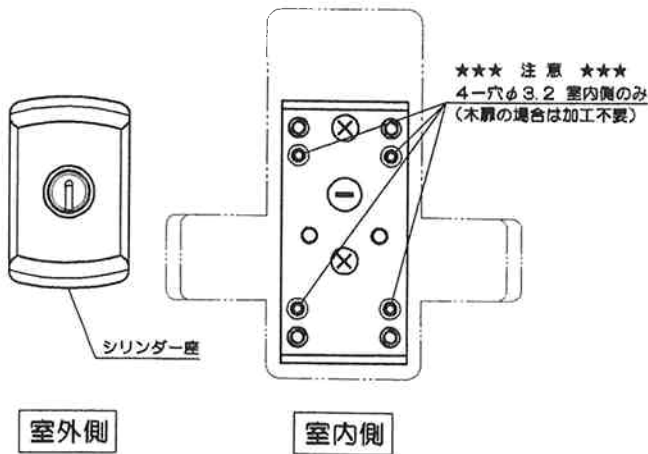
- ⑧ 貫通穴φ30を加工します。
(シリンダー用)



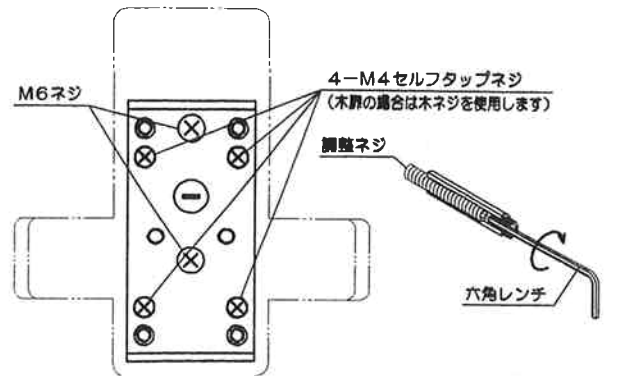
- ⑨ 扉たわみ防止装置を取付補助板へ固定します。(木扉の場合不要です)
シリンダーと取付補助板をM6ネジ2本で仮止めします。
ネジは上記④の表から選びます。



- ⑩ 4-穴φ3.2を加工します。
(取付補助板固定用M4ネジ下穴)

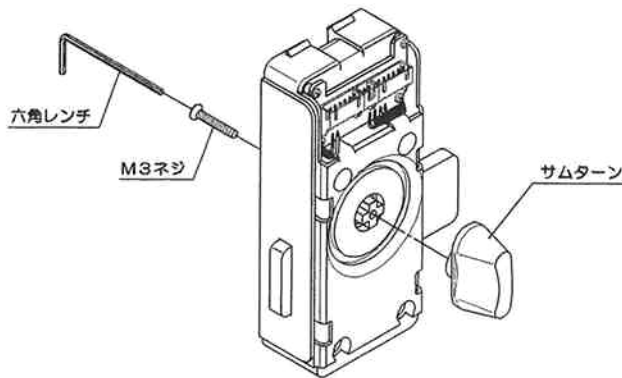


- ⑪ 取付補助板を扉へ固定します。(M4ネジ4本)
次に、仮止めたM6ネジ2本を一旦緩めて、扉たわみ防止装置で扉がたわまない様に調整してM6ネジ2本を最終締め付けしてください。

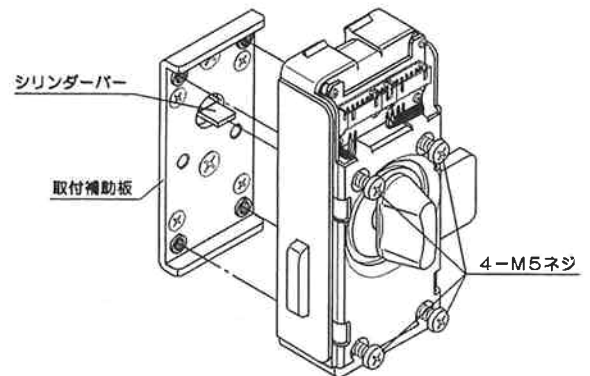


*** ポイント ***
六角レンチで時計方向へ回し過ぎると扉が膨らみます。扉内側に調整ネジが軽く当たる程度でよいです。

- ⑫ サムターンを錠本体へ固定します。(M3ネジ1本)
解錠状態でサムターンが縦向きになる様に取付けてください。
裏側からM3ネジでサムターンをしっかり固定します。
付属の六角レンチを使用してください。

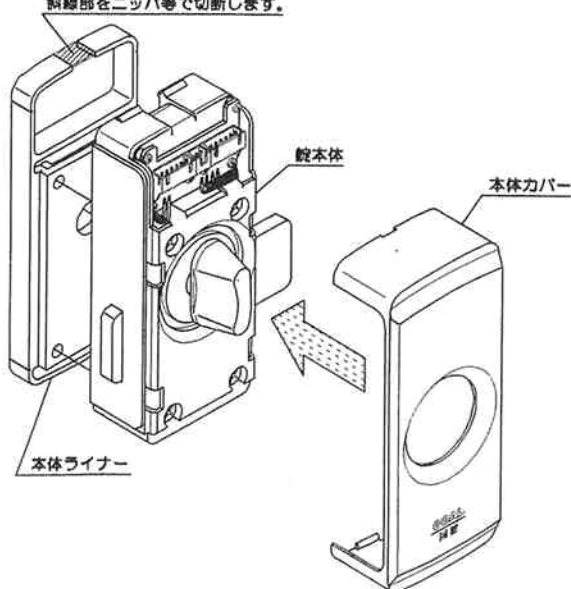


- ⑬ 錠本体を取付補助板へ固定します。(M5ネジ4本)
シリンダーバーを錠本体のハブ穴へ入れて、M5ネジ4本で固定します。ネジは2種類あります。
● 本体ライナーを使用する場合は、M5×35
● 本体ライナーを使用しない場合は、M5×25

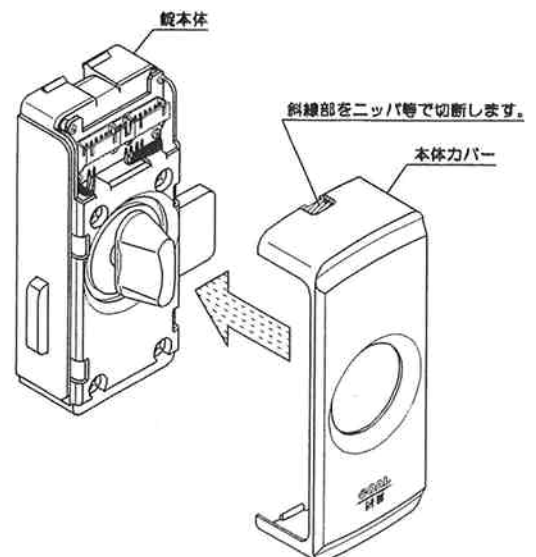


*** ポイント ***
4-M5ネジの締め過ぎに注意してください。
デッドボルト・サムターン等の作動不良につながります。

- ⑭ 本体カバー又は本体ライナーに配線用の穴加工をします。
● 本体ライナーを使用する場合
斜線部をニッパ等で切断します。



- 本体ライナーを使用しない場合

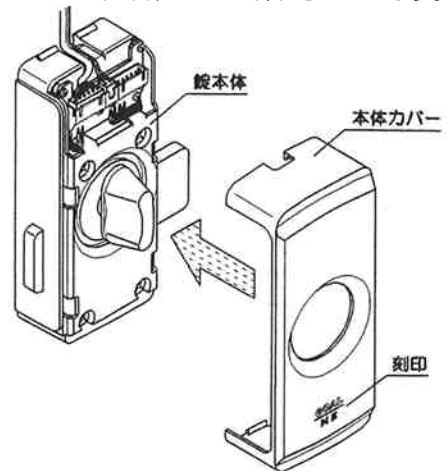


- ⑮ 制御器、MRS（扉開閉スイッチ）を錠本体に結線します。
配線はねじらないで結線してください。
ねじれたりすると配線が正しく収納されず、本体カバーが外れることがあります。



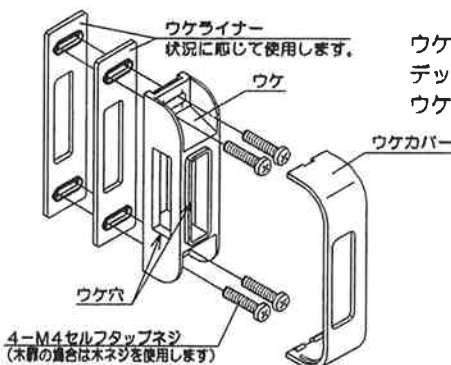
★★★ ポイント ★★★
制御器からの配線は、施錠状態で
デッドボルトが出ている側のコネ
クターに差し込んでください。

- ⑯ 錠本体に本体カバーを取付けます。
本体カバーには上下方向があります。刻印が下側になる様に
取付けてください。また、外力カバー取付け後、配線を引っ張
らないでください。本体カバーが外れることがあります。



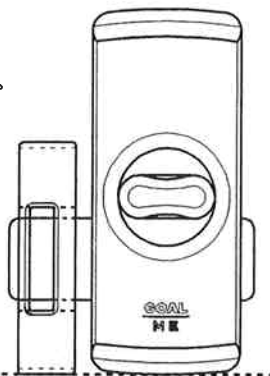
- ⑰ ウケを枠へ固定します。（M4ネジ4本）

扉が開まった状態でデッドボルトがウケ穴に入る様にします。（ウケライナーを使用して高さ調整します）



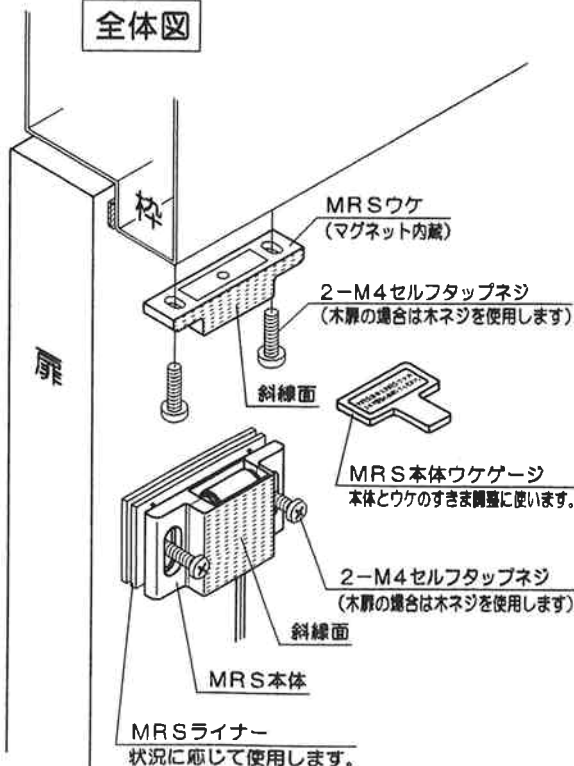
★★★ ポイント ★★★
ウケを取付ける時、扉のガタツキ（開閉方向）を考慮して
デッドボルトがウケ穴に入ることを必ず確認してください。
ウケ取付ネジは必ず4本でしっかりと固定してください。

錠本体とウケの下端を合わせると、
デッドボルトとウケ穴の中心位置を
合わせることができます。

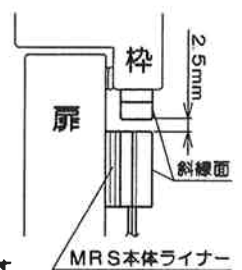


MRS（扉開閉スイッチ）について

全体図

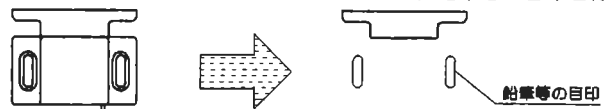


1. 扉を開めた状態で、MRS本体とMRSウケの
左図斜線面が同一になる様に取付確認をします。
(MRS本体ライナーを使用して高さ調整します)

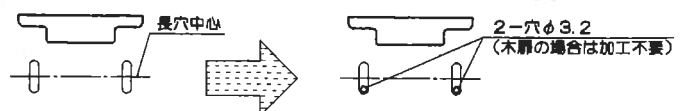


2. MRSウケを枠へ固定します。（M4ネジ2本）
ウケのネジ穴中心にM4セルフタップネジ用の
下穴φ3.2を明けてM4ネジ2本で取付けます。

3. MRS本体を扉へ仮止めします。（M4ネジ2本）
MRS本体とウケは、マグネットにより吸着します。
吸着させた状態でMRS本体の位置を決定し、鉛筆等で目印を付けます。



次に、目印の長穴中心より下側にM4セルフタップネジ用の下穴φ3.2
を明けて、MRS本体をM4ネジ2本で扉に仮止めします。



4. MRS本体とウケのすき間を、2.5mmになるように調整します。
付属のMRS本体ウケゲージ（板厚2.5mm）をMRS本体とウケの
すき間へ入れて、MRS本体の位置を調整して最終締め付けをします。
最後に、MRS本体ウケゲージを抜き取って作業終了です。

5. MRSが作動して扉開閉信号を出力時は、必ずデッドボルトがウケ穴に
入る位置に調整してください。